

新人職員の紹介



藤本 総司
(従来型特養)
令和8年4月1日入職

好きな食べ物… ハンバーグ
趣味………… ゲーム
職場への意気込み…
皆様とコミュニケーションを
取りつつ頑張っていきます。



関谷 有香理
(従来型特養)
令和8年4月1日入職

好きな食べ物… プリン、バームクーヘン、
シュークリームなどの洋菓子
カカオ70%チョコレート
趣味………… 登山
職場への意気込み…
業務の流れを覚えて、足手まといに
ならないよう頑張りたいと思います。



松村 明日香
(従来型特養)
令和8年5月1日入職

好きな食べ物… カレーライス、みかん
趣味………… 家庭菜園
職場への意気込み…

今日までの約6年間ほど介護の仕事に携わり、身体介助のスキルを
磨いてまいりました。これからは、これまでの経験を活かしつつ、さ
らにより個人の自立を促すケアを学びたいと考えております。お客
様だけでなく、ご家族様からも信頼される介護職員を目指します。

看護室だより

夏場は暑さによる疲労だけでなく、さまざまな体
調変化が起こりやすい季節です。

暑さによる食欲の低下により、ついつい、冷たいも
のを選びがちですが、胃腸が冷え、消化機能の低下
により、食欲不振や下痢、だるさにつながるがあり
ます。温かいお茶やみそ汁などで、胃腸を労わり、
バランスの良い食事を摂るようにしましょう。

昔から「暑い時こそ温かいものを」との考えは、胃腸を
守り、夏バテを防ぐ生活の知恵として知られています。

中間管理職研修

令和8年5月26日、6月17日に、合同会社ディ
パワーの大地勉先生をお招きし、中間管理職を対象
とした研修会が開催されました。

全6回の構成で開催され、研
修で学んだことを、その場で終
わらせるのではなく、日々の仕
事面でも実践できるよう、研修
を通して個々のスキルアップ、
サービスの質の向上につながる
よう、頑張っています。



編集 後記

梅雨の季節を迎え、蒸し暑い日が続いています。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。
これから本格的な夏を迎えます。こまめな水分補給や適度な休息を心がけ、体調
管理に気を付けてお過ごしください。
夏野菜がおいしい季節となりました。トマトやきゅうり、なす、ピーマンなどの夏野
菜には、暑い時期の体調管理に役立つ栄養がたくさん含まれています。旬の物を
たっぷり食べ、暑さに負けない体づくりを心がけながら、元気に夏を楽しみましょう！



ホームページは
こちらから

栄養室だより

さわやか園では月に1回、お誕生会を開催してい
ます。今回は4月のお誕生会でご提供した、お食事
のご紹介です。今後も季節を感じていただけるよう
なお食事を提供していきたいと思います。

【4月お誕生会おしながき】



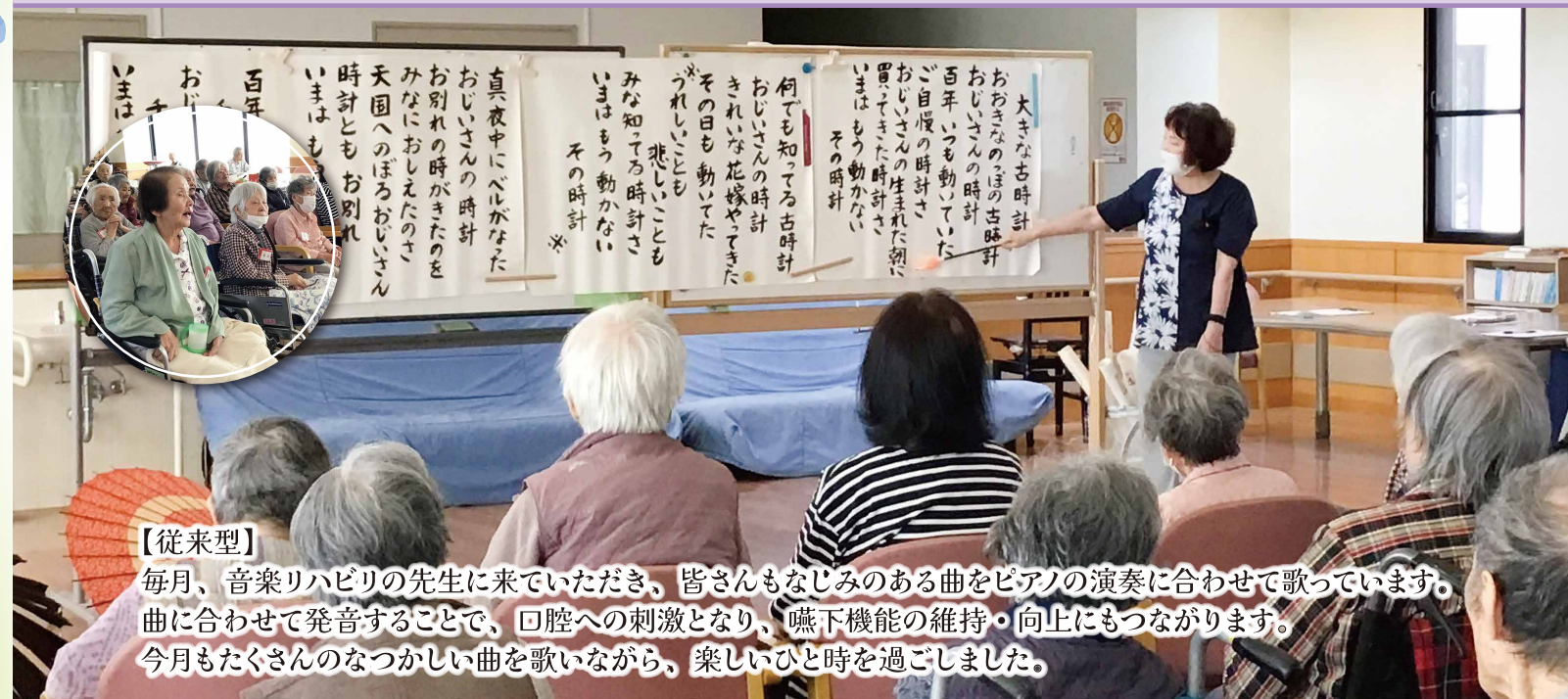
理事会・評議員会

6月2日(火)に理事会、18日(木)に評議員
会を開催し、令和7年度事業報告、収支決算など
について審議いたしました。また、新しい理事として
福井浩司氏、及び新しい監事として田中満氏が理事
会、評議員会で推薦、決定し就任いたしました。

さわやか園だより

7月号

2026
(令和8年)



【従来型】

毎月、音楽リハビリの先生に来ていただき、皆さんもなじみのある曲をピアノの演奏に合わせて歌っています。
曲に合わせて発音することで、口腔への刺激となり、嚥下機能の維持・向上にもつながります。
今月もたくさんのなつかしい曲を歌いながら、楽しいひと時を過ごしました。

組織は「人」で 支えられている

社会福祉法人 敬親会
特別養護老人ホーム さわやか園
常務理事・施設長 岡森 久剛



今年も暑い夏がやって参りました。

地域によっては、酷暑とも言われるほどの暑さになると
の事です。

お客様におかれましては、熱中症・脱水対策のみならず、
水分補給により転倒予防や感染予防などお一人お一人に
合った飲水方法を考え、「こまめな水分摂取が命を守るケ
アにつながる」ことを最重要意識といたします。そして全
社協力体制をとりながら、お客様の安全な生活を支えさせ
ていただきます。

さて、令和7年度の決算結果は惨憺たる結果で終わりました。
決算は、私の通信簿であり、最低の評価で、大いに猛省しています。令和6年度の奇跡的な黒字により、油
断もありました。しかし数字を見せつけられると、「1年間、
俺は何をしとったんじゃ!」と自分に腹が立ちます。この
大事な特養を守ることが私の任務でありながら、情けない
限りです。今期は何としても巻き返します。

前回の社外報にも書きましたが、3つの目標である「稼
働率 98%、居宅1人当たり 35 件、デイサービス1日のご

利用者 16 名」を今期は愚直に冷徹に実行します。

そして必ずV字回復し、園を再び、程よい緊張感を持った
職場、活気ある施設にいたします。

3年前から言い続けていることですが、組織の再建は中
間管理職の成長なくしてはあり得ません。「財を残すは下
仕事を残すは中 人を残すは上なり。」とは明治の著名な
医者が遺された名言です。管理職がその人をよく見て、観
てあげる。

さわやか園は、スタッフやパートさんで支えられていると
いうことを改めて認識してほしい。そして感謝の気持ちを持
ってほしい。雑用を黙々とされている方は、施設全体を
よく見ている。機転が利く。だから、仕事のできる人は雑
用をしっかりとやるし、進んでやります。逆に雑用をなめて
る人、嫌いな人は組織の柱にはなれない。気が利かない。
雑用力は、観察力、工夫力、実行力や管理能力を知らず
知らずのうちに鍛えているんでしょうね。管理職の人たち
にはそれを見つけて見抜く力をつけていただきたい。人の
いいところ、その可能性を見つけることが、管理職の仕事
というより、人生そのものじゃないかと思えます。

5月から始めたセミナーで、社会人として、管理職として
の基礎固めをして、是非とも自らの成長につなげてほしい。

上述の医者の名言の続きがあります。「されど、財な
ずんば事業保ちがたく、事業なくんば人育ちがたし」と。